

1. コラム一覧

| | |
|---|-------|
| 循環器病予防のための、血圧管理の重要性 | ・・・18 |
| 新型コロナウイルス感染症と循環器病（生活習慣病） | ・・・23 |
| 救急搬送時の遠隔作業支援、病院同士の画像伝送の必要性 | ・・・30 |
| 脳卒中の前触れ、一過性脳虚血発作とは | ・・・34 |
| 急性大動脈解離とその治療 | ・・・39 |
| 心不全パンデミック | ・・・40 |
| 心臓リハビリテーションとフィットネスの連携 ～佐久地域の取組～ | ・・・43 |
| 「Raise to 80 Project」 ～胎児心臓病スクリーニング向上のための長野県立こども病院の取組～ | ・・・46 |
| 増加する成人先天性心疾患患者数、循環器内科管理の重要性 | ・・・48 |
| 地域医療・多職種連携の必要性 ～飯田下伊那診療情報連携システム～ | ・・・52 |

2. 用語解説

あ行

ICT

ICTは「Information and Communication Technology」の略で、情報通信技術を意味する。

医療ソーシャルワーカー

保健医療機関等において患者や家族の相談にのり、社会福祉の立場から経済的・心理的・社会的問題の解決、調整、社会復帰の支援を行う専門職。MSW（Medical Social Worker）と略すこともある。

NDB

NDBは「National Database」の略で、レセプト情報・特定健診等情報データベースの呼称。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、医療費適正化計画の作成、実施及び評価のための調査や分析等に用いるデータベースとして、レセプト（診療報酬明細書）情報及び特定健診・特定保健指導情報を格納しているもの。厚生労働省では、NDBデータから汎用性の高い基礎的な集計表を作成し、「NDBオープンデータ」として公表している。

か行

介護支援専門員（ケアマネジャー）

平成12年の介護保険制度導入に伴い創設された介護保険法に基づき都道府県が認定する公的資格。要介護または要支援者からの相談に応じ、心身の状況等に応じた適切な介護保険サービスを利用できるよう、市町村・サービス事業者・施設等との連絡調整を行う者であって、要介護者等の自立した日常生活を援助するために必要な専門的知識及び技術を有する専門職。大別すると「居宅におけるケアマネジャー」と「施設等におけるケアマネジャー」に区別される。

回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患、大腿骨頸部骨折等の患者を対象として、食事や着替え、排せつ等日常動作の能力向上による寝たきり防止と家庭復帰を目的に、集中的なリハビリテーションを行う病棟。

家族性高コレステロール血症

生まれつき血液中の悪玉コレステロールである、LDL(Low Density Lipoprotein：低比重リポタンパク質)コレステロールが異常に増えてしまう病気のこと。適切に治療がなされないと、幼い頃から動脈硬化が進行して、小児期に心筋梗塞等命にかかわる病気を発症するとされる。

感染性心内膜炎（症）

血液中に入った細菌等が原因となり、心臓に炎症を起こす病気のこと。症状として発熱、食欲低下、吐き気、頭痛、腹痛等が起こる。さらに、心臓の中に「ゆうぜい」という細菌のかたまりができると、心不全や脳梗塞等を合併しやすくなる。

冠動脈

心臓の周囲を取り巻いている動脈のことで、心臓の筋肉に酸素や栄養を運ぶ役割を果たしている。

緩和ケア

生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題・心理社会的問題・精神的問題を早期に発見し、的確な観察と対処を行うことで苦しみを予防・緩和し、QOL（Quality of Life：生活の質）の改善を目的としたケアのこと。

機械的血栓回収療法

カテーテル（医療用の細く柔らかい管）を手や足の血管から挿入し、脳血管を詰まらせた血栓（血液のかたまり）をステント（金属の網）等で体外に回収（除去）し、脳血管の血流を改善させる治療法。血栓溶解療法（t-PA療法）の適応時間（発症から4.5時間）後でも実施可能であり、症例によっては発症から24時間以内でも行うことができる。

救急救命士

平成3年に創設された救急救命士法に基づく医療系国家資格。急病やけが人が発生した場所から医療機関に搬送するまでの間に、医師の指示のもと救急救命処置を行う資格者のこと。EMT（Emergency Medical Technician）と略すこともある。

急性冠症候群

冠動脈内に血栓が詰まって心臓の筋肉に血液が送られなくなり、心筋が壊死（えし）してしまう状態のことで、不安定狭心症と急性心筋梗塞を合わせた病気の総称。

虚血性心疾患

冠動脈内に血栓が詰まって心臓の筋肉に血液が送られなくなり、心臓に障害が起こる疾患の総称。急性心筋梗塞や狭心症が含まれる。

経皮的冠動脈インターベンション

虚血性心疾患に対して脚の付け根や腕、手首等の血管からカテーテル（医療用の細く柔らかい管）を挿入し、冠動脈の狭くなった部分を広げて、血流を改善させる治療法。経皮的冠動脈形成術ともいう。PCI（Percutaneous Coronary Intervention）と略すこともある。

血圧

心臓から送り出された血液が血管の内壁を押し出す力のこと。常に変動しており、通常は朝の目覚めとともに上昇し、日中は高く、夜間・睡眠中は低くなる。

血栓溶解療法（t-PA 療法）

急性脳梗塞に対して薬物により血栓を溶解する治療法。t-PA は、「Tissue-type Plasminogen Activator（組織型プラスミノゲン活性化因子）」の略。血管の表面を被っている血管内皮細胞で作られる物質で血液の中を流れている「プラスミノゲン」という物質を活性化し、「プラスミン」という血栓を溶かす作用を持つ物質に変化させる働きがある。発症から 4.5 時間以内に治療が行われる必要があるとされる。

健康寿命

平成 12 年に WHO（世界保健機関）が提唱した、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。厚生労働省では、「①日常生活に制限のない期間の平均」、「②自分が健康であると自覚している期間の平均」、「③日常生活動作が自立している期間の平均」の 3 つの算定方法を示している。

言語聴覚士

平成 9 年に創設された言語聴覚士法に基づく医療系国家資格。言葉によるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職。摂食・嚥下の問題にも専門的に対応する。ST（Speech language hearing Therapist）と略すこともある。

高血圧症

くり返し計測しても、血圧が正常より高い場合をいう。くり返しの測定で診療室での最高血圧が 140mmHg 以上、あるいは、最低血圧が 90mmHg 以上であれば診断される。高血圧症からは、脳卒中、狭心症、心筋梗塞、心不全等の重大な合併症が起こるとされる。

高次脳機能障害

脳卒中による脳血管障害や、交通事故等のケガによる脳外傷、脳炎や脳腫瘍等による脳の損傷によって生じる言語や思考、記憶、注意、情緒といった認知機能に障害が起こった状態。失語、注意力や認知力の低下、感情や行動の抑制がきかない等の症状が出現し、周囲の状況にあった適切な行動がとれなくなるため生活に支障をきたすとされる。

公認心理師

平成 29 年度に創設された公認心理師法に基づく医療系国家資格。保健医療、福祉、教育その他の分野において専門的知識及び技術をもって、心理に関する支援を要する者の心理状態の観察及び分析を行うとともに、心理に関する相談に応じ、助言・指導その他の援助等を行う専門職。

誤嚥性肺炎

本来気管に入ってはいけない食べ物や唾液が気管支や肺に入り（誤嚥）、生じる肺炎のこと。老化や脳血管障害の後遺症によって、飲み込む機能（嚥下機能）や咳をする力が弱くなると、口腔内の細菌、食べかす、逆流した胃液等が誤って気管支や肺に入りやすくなり、発症する。

さ行

作業療法士

昭和 41 年に創設された理学療法士及び作業療法士法に基づく医療系国家資格。心身に障がいのある人、またはそれが予測される人に対して、作業活動を用いて、機能の回復や維持、または開発を支援する専門職。OT (Occupational Therapist) と略すこともある。

脂質異常症

血液中のコレステロールや中性脂肪等の脂質が基準値よりも多い状態のこと。以前は、高脂血症とも言われていた。血液中に余分な脂質が多くなると、動脈硬化を起こしやすくなり、心筋梗塞や脳卒中等のリスクが高くなる。

歯周病

歯垢（プラーク）の付着等により細菌が感染することで引き起こされる炎症性疾患で、歯の周りの歯ぐき（歯肉）や、歯を支える骨等が溶けてしまう病気のこと。炎症による毒性物質が歯肉の血管から全身に入り、動脈硬化を引き起こす等脳卒中や心疾患の要因になるとされる。

失語症

脳卒中等による脳機能の損傷を起因とする言語機能の障害であり、聴く・読む・話す・書くといった言語に関わる機能に障害を有する状態のこと。

自動体外式除細動器（AED）

心室細動を起こした人に取り付け、電気ショックを与えて心臓の働きを取り戻すための救命機器。平成 16 年から一般人の使用も認められ、機械の音声指示に従って操作する。AED は、「Automated External Defibrillator」の略。

社会福祉士

昭和 62 年に創設された社会福祉士及び介護福祉士法に基づく国家資格。身体上若しくは精神上の障害があることまたは環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する、または、医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行う専門職。CSW (Certified Social Worker) と略すこともある。

受動喫煙

室内又はこれに準ずる環境において、自分の意志に関わらず、他人が吸うたばこの煙を吸わされてしまうこと。たばこを吸わない人でも継続的な受動喫煙により、健康への影響が発生するとされる。令和 2 年 4 月 1 日改正健康増進法が施行され、望まない受動喫煙の防止を図るため、多数の者が利用する施設等の区分に応じ、一定の場所を除き喫煙を禁止する等の措置等が定められた。

主任介護支援専門員

平成 18 年の介護保険制度改正で創設された介護支援専門員（ケアマネジャー）の上位資格。介護支援専門員に指導・助言を行ったり、地域包括支援センターにおいて包括的・継続的ケアマネジメントの中核的な役割を担う。主任介護支援専門員研修を修了する必要がある、研修の受講要件として、5 年以上の実務経験、専門研修の修了等が定められている。

小児慢性特定疾病

子どもの慢性疾患のうち、厚生労働大臣が指定する特定の疾病のことで、16 疾患群 788 疾病が対象となっている（令和 3 年 11 月 1 日現在）。児童の健全育成、患者家庭の医療費の負担軽減に繋がるよう、医療費の自己負担分の一部が補助される。

心疾患

心筋梗塞・狭心症・不整脈・心筋炎・先天性心疾患等、心臓に生じる疾患の総称。心臓病とも呼ばれる。

信州 ACE（エース）プロジェクト

長野県が展開する健康づくり県民運動の名称。ACE は、生活習慣病予防に効果のある Action（体を動かす）、Check（健診を受ける）、Eat（健康に食べる）を表し、世界で一番（ACE）の健康長寿を目指す想いを込めたもの。

心電図

心筋が収縮する時に発生するわずかな電位の変化を記録したもので、波形で記録されたもの。検査時の心臓の状態を推測することができ、不整脈等の発見にも繋がる。

心肺蘇生

呼吸や心臓が停止またはそれに近い状態にある傷病者に対して、心肺機能を補助するために行う救急救命処置のこと。状態を確認しながら、意識の確認・気道の確保・人工呼吸・胸骨圧迫（心臓マッサージ）・自動体外式除細動器（AED）による除細動等を行う。

心不全

心臓に何らかの異常があり、心臓のポンプ機能が低下して全身の臓器が必要とする血液を十分に送り出せなくなった状態。心筋梗塞や狭心症、不整脈、先天性の心臓の病気等様々な疾患が心不全の原因とされる。

心不全療養指導士

日本循環器学会において令和 3 年度より創設された民間資格。心不全の発症・重症化予防のための療養指導に従事する医療専門職に必要な基本的知識および技能等資質の向上を図ることを目的として創設された。

心房細動

不整脈の一種で、心臓内にある心房が異常な動きをし、心臓本来の動きができなくなる病気のこと。動悸やめまいは症状の一つであり、心房細動により心不全に至ったり、心原性脳梗塞が引き起こされるとされる。

生活習慣病

不適切な食生活、運動不足、喫煙等の不健康な生活習慣に起因して起こる病気の総称。日本人の死因の上位を占める、がんや心臓病、脳卒中は生活習慣病に含まれる。

先天性心疾患

生まれたときから心臓に何らかの異常がある病気の総称。

せん妄

疾患、脱水、薬物、入院・手術等が原因で突然発症し、一時的に意識障害や認知機能の低下が起こる状態。せん妄の症状には、時間や場所が急に分からなくなる見当識障害、注意力・思考力の低下、不安、興奮、幻覚、錯覚等がある。

た行

大動脈解離

大動脈（心臓から送り出された血液が最初に通る、人体の中で最も太い血管）は内膜、中膜、外膜の3層に分かれており、中膜が何らかの原因で裂けて、元々は大動脈の壁であった部分に血液が流れ込むことで大動脈内に二つの通り道ができる状態のこと。

大動脈瘤

大動脈が「こぶ」のように病的に膨らんだ状態のこと。胸部に動脈瘤がある場合を胸部大動脈瘤、腹部に大動脈瘤がある場合を腹部大動脈瘤という。大動脈瘤が大きくなると、破裂することがあり、多量の出血により急激なショック症状や突然死に至ることもある。

地域包括ケア体制

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、日常生活圏域において、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制。地域包括ケアシステムとも呼ぶ。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、各地域で地域包括ケア体制が構築されるよう、様々な取組が進められている。地域包括ケアシステムとも言う。

地域包括支援センター

公正・中立の立場から、地域における高齢者の①総合相談支援、②虐待の早期発見・防止等の権利擁護、③包括的・継続的ケアマネジメント支援、④介護予防マネジメントという4つの機能を担う中核機関。市町村または社会福祉法人等の市町村が委託する法人が運営し、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士等の専門職が従事している。

通所リハビリテーション

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、老人保健施設、病院、診療所等に通い、食事や入浴等の日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービス等を日帰りで提供する介護サービスのこと。

糖尿病

インスリン（膵臓から分泌されるホルモンで、糖の代謝を調節し、血糖値を一定に保つ働きを持つ。）が十分に働かないために、血液中を流れるブドウ糖という糖（血糖）が増えてしまう病気のこと。糖尿病は、膵臓でインスリンを作るβ細胞が壊れることが原因の「1型糖尿病」、生活習慣や遺伝的な影響により、インスリン分泌低下やインスリン抵抗性（十分に作用しないこと）が原因の「2型糖尿病」、他の病気や治療薬等の影響で血糖値が上昇する「その他糖尿病」、妊娠中に初めてわかった糖代謝異常である「妊娠糖尿病」の4つに分類される。血糖値が高い状態が続くと動脈硬化が進み、脳梗塞や心筋梗塞等の原因になり得る。

動脈硬化

動脈が強く弾力性に富んでいれば、心臓や脳を始めとする全ての臓器や筋肉等の組織へ必要な酸素や栄養の供給は順調に行われるが、コレステロール等血液の脂質が知らない間に動脈に溜まった（プラーク）、酸素や栄養が不足したり、高血圧により常に血管に負担がかかったり、様々な原因が重なって動脈の新しい細胞が作られなくなることにより、動脈が弾力性を失い、固く、もろくなってしまう状態。プラークの表面が破れると血栓ができ、時には血管がつまってしまい心筋梗塞や脳梗塞の原因となり得る。

ドクターヘリ（救急医療用ヘリコプター）

医療機器や医薬品を装備し、医師、看護師が搭乗して救急現場等に向かい、救命治療を行う専用のヘリコプターのこと。平成7年の阪神・淡路大震災がきっかけとなり、導入されるようになった。

特定健康診査

生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に行うメタボリックシンドロームに着目した健診のこと。一般的に「特定健診」と呼ぶ。

特定保健指導

特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士等）が生活習慣見直しのサポートを行うこと。

な行

認定看護師

平成7年に創設された日本看護協会による資格認定制度。特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を用いて、水準の高い看護実践のできる看護師のこと。

年齢調整死亡率

死亡数を人口で除した死亡率は、各地域の年齢構成の差によって、高齢者の多い地域で高くなり、若年者の多い地域で低くなる傾向にあるため、年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率のこと。

脳血管疾患

脳の一部または全部に、梗塞あるいは出血等によって一過性ないし持続的に障害が生じる病気の総称。脳卒中以外にも高血圧性脳症、脳血管性認知症等を含む脳の血管に関する疾患全般を指す。

脳血管内手術

脳の病気に対して頭を切ったり頭蓋骨に穴を開けることなく、カテーテル（医療用の細く柔らかい管）を手や足の血管から挿入し、血管の中を介して治療を行う治療法で、脳血管に関する治療全般を指す。脳血管内治療または脳神経血管内治療ということもある。

脳卒中

脳の血管が破れるか詰まることで脳の血液の循環に障害を来し、様々な症状を起こす疾患の総称。脳の血管が詰まる「脳梗塞」、血管が破れ、実質脳内に血液が流出する「脳内出血」、脳動脈瘤が破裂することが主な原因となり、脳の表面であるくも膜下腔に出血が起こる「くも膜下出血」に分類される。

脳卒中集中治療室（SCU）

手術直後や重症の脳卒中患者を集中的に高度な治療・看護する病棟。SCUは「Stroke Care Unit」の略。

は行

廃用性症候群

安静状態が長期に渡り続くこと（いわゆる寝たきり）や運動量の減少によって、心身の様々な機能が低下する状態のこと。筋萎縮、関節拘縮、骨粗しょう症、起立性低血圧（急に立ち上がった時や長時間立ち続けると、立ちくらみ・めまい等を起こす状態）、食欲不振、うつ等の症状が現れる。生活不活発病とも呼ばれる。

BMI

BMIは「Body Mass Index（ボディマス指数）」の略で、成人の肥満度を表す指標として国際的に用いられ、 $[\text{体重(kg)}] \div [\text{身長(m)}^2]$ で求めることができる。WHO（世界保健機関）の基準では、18.5未満を低体重、18.5以上24.5未満を正常体重、30以上を肥満としている。

不整脈

心臓の拍動のリズムが不規則であったり、極端に頻度が高かったり少なかったりする状態。心臓が血液を全身へと送れなくなり、息切れや呼吸困難等の心不全症状が現れたり、心臓内に血栓ができて脳梗塞の危険が高まる場合もある。

フレイル

加齢とともに、心身の活力（筋力や認知機能等）が低下し、生活機能障害、要介護状態、さらに死亡等の危険性が高くなった状態。運動機能の低下や口腔機能低下に伴う低栄養等の「身体的」、認知機能の低下やうつ等の「精神・心理的」、閉じこもりや孤食等による「社会的」等の要因が重なることにより起こる。

訪問リハビリテーション

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等が利用者の自宅を訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けたリハビリテーションを行う介護サービスのこと。

ま行

まちの保健室

学校の保健室のように、地域住民が「いつでも・誰でも・気軽に立ち寄って、心や体の相談ができる」場として、県看護協会が様々な機関と連携して随時開催しているもので、地域のイベント会場等を活用し、健康相談や健康チェック、健康に関する啓発活動等を行っている。

今後、地域住民により身近な場所で開催出来るよう検討している。

メタボリックシンドローム

内臓脂肪の蓄積に加え高血圧、高血糖、脂質異常等が複合的に発症している状態。過食や運動不足等の生活習慣が続くことによって内蔵に脂肪が蓄積し、それが原因となって代謝のバランスが崩れるようになり、放置すると動脈硬化となり、心筋梗塞や脳卒中等の原因となり得る。内臓脂肪症候群ともいう。

や行

要介護

身体上又は精神上の障害のために、入浴、排せつ、食事等の日常生活における基本的な動作の全部又は一部について、6か月にわたり継続して、常時介護を要すると見込まれる状態を「要介護状態」といい、認定基準に従い介護認定審査会を経て保険者が認定する。状態に応じて要介護1～5の5段階に分けられる。

要支援

要介護状態まではいかないものの、6か月にわたり継続して、日常生活を営むのに支障があると見込まれる状態（例えば、身支度や掃除、洗濯、買い物等ができない状態）を「要支援状態」といい、認定基準に従い介護認定審査会を経て保険者が認定する。状態に応じて要支援1～2の2段階に分けられる。

予後

病気や治療等の医学的な経過についての見通しのこと。

理学療法士

昭和 41 年に創設された理学療法士及び作業療法士法に基づく医療系国家資格。身体に障がいがある人や障がい予測される人に対して、運動療法や物理療法等を用いて、基本動作能力の向上や維持を支援する専門職。PT (Physical Therapist) と略すこともある。

臨床工学技士

昭和 62 年に創設された臨床工学技士法に基づく医療系国家資格。生命維持管理装置等の医療機器の操作・保守点検を担当する、医学と工学の両方の知識を兼ね備えた医療機器の専門職。CE (Clinical Engineer) と略すこともある。

臨床心理士

昭和 63 年に創設された日本臨床心理士資格認定協会が認定する民間資格。臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間のこころの問題にアプローチする「心の専門家」。CP (Clinical Psychologist) と略すこともある。

3. 策定経過・検討体制

(1) 策定経過

| | |
|------------------------------|---|
| 令和3年7月20日 | 令和3年度第1回長野県循環器病対策推進協議会 <計画策定の方向性、検討体制> |
| 令和3年8月31日 | 第1回長野県循環器病対策医療分野ワーキンググループ <循環器病対策・現状と課題> |
| 令和3年10月26日 | 第2回長野県循環器病対策医療分野ワーキンググループ <循環器病対策・施策の方向性> |
| 令和3年11月8日 | 長野県循環器病対策予防分野ワーキンググループ <循環器病予防の現状と課題、施策の方向性> |
| 令和3年12月14日 | 令和3年度第2回長野県循環器病対策推進協議会 <計画（素案）について> |
| 令和3年12月24日 ～ 令和4年1月23日 | パブリックコメント |
| 令和4年2月10日 | 令和3年度第3回長野県循環器病対策推進協議会（書面協議） <計画（案）について> |

(2) 検討体制

○ 令和3年度長野県循環器病対策推進協議会 (20名)

◎：座長

| 氏名 | 所属等 |
|--------|---------------------------------------|
| 石田 淳子 | 長野県保健補導員会等連絡協議会 会長 |
| 石塚 豊 | 長野県薬剤師会 専務理事 |
| 今村 浩 | 信州大学医学部救急集中治療医学教室・高度救命救急センター 教授・センター長 |
| 大澤 麻美 | 全国心臓病の子どもを守る会長野県支部 副支部長 |
| 笠井 千奈 | 千曲市健康推進課 課長 |
| 金井 春子 | 長野県食生活改善推進協議会 会長 |
| 桑原 宏一郎 | 信州大学医学部循環器内科学教室 教授 |
| 小岩井 順子 | 全国心臓病の子どもを守る会心臓病者友の会長野県支部 代表 |
| 小林 広美 | 長野県介護支援専門員協会 会長 |
| 齋藤 彦次郎 | 長野県歯科医師会 常務理事 |
| 佐伯 英則 | 長野県消防長会 会長 |
| 佐藤 博之 | 長野県理学療法士会 会長 |
| 辻合 崇浩 | 長野産業保健総合支援センター 副所長 |
| 土屋 嘉宏 | 長野県保険者協議会 副会長 |
| 樋口 靖志 | 長野リハビリ友の会 理事 |
| 堀内 哲吉 | 信州大学医学部脳神経外科学教室 教授 |
| ◎本郷 一博 | 長野県医師会 理事 |
| 馬島 園子 | 長野県栄養士会 副会長 |
| 山本 かづ子 | 長野県看護協会 副会長 |
| 山本 昌江 | 阿智村民生課 課長 |

(五十音順/敬称略)

○ 長野県循環器病対策医療分野ワーキンググループ (13名)

◎：座長

| 氏名 | 所属等 |
|---------|---------------------------------------|
| 青木 俊樹 | 市立大町総合病院 副院長兼脳神経外科部長 |
| 今村 浩 | 信州大学医学部救急集中治療医学教室・高度救命救急センター 教授・センター長 |
| ◎桑原 宏一郎 | 信州大学医学部循環器内科学教室 教授 |
| 関島 良樹 | 信州大学医学部内科学第三教室 教授 |
| 瀬戸 達一郎 | 信州大学医学部外科学教室心臓血管外科学分野 教授 |
| 瀧間 浄宏 | 長野県立こども病院 循環器小児科 部長 |
| 露崎 淳 | 浅間南麓こもろ医療センター 脳神経内科部長 |
| 花岡 吉亀 | 信州大学医学部脳神経外科学教室 講師 |
| 堀内 哲吉 | 信州大学医学部脳神経外科学教室 教授 |
| 元木 博彦 | 信州大学医学部循環器内科学教室 准教授 |
| 矢崎 善一 | 佐久総合病院佐久医療センター 副院長 |
| 山本 一也 | 飯田市立病院 副院長兼心臓血管センター長 |
| 吉岡 二郎 | 長野県医師会 理事 |

(五十音順/敬称略)

○ 長野県循環器病対策予防分野ワーキンググループ (25名)

◎：座長

| 氏名 | 所属等 |
|--------|---------------------|
| 飯塚 康彦 | 長野県医師会 副会長 |
| 五十嵐 宏美 | 日本健康運動指導士会長野県支部 役員 |
| 石田 淳子 | 長野県保健補導員会等連絡協議会 会長 |
| 石塚 豊 | 長野県薬剤師会 専務理事 |
| 碓 暎雄 | 長野県事業場健康診断機関協議会 会長 |
| 笠井 千奈 | 千曲市健康推進課 課長 |
| 梶田 能孝 | 長野県経営者協会総務部 次長 |
| 金井 春子 | 長野県食生活改善推進協議会 会長 |
| 金子 隆太郎 | 長野労働局労働基準部健康安全課 課長 |
| 小松 仁 | 長野県保健所長会 会長 |
| 志川 真一 | 長野県小学校長会 会長 |
| 清水 昭 | 全国健康保険協会長野支部 支部長 |
| 辻合 崇浩 | 長野産業保健総合支援センター 副所長 |
| ◎土屋 嘉宏 | 長野県保険者協議会 副会長 |
| 新津 恒太 | 長野県歯科医師会 常務理事 |
| 長谷川 聡子 | 長野県保育連盟 副会長 |
| 廣田 直子 | 長野県栄養士会 会長 |
| 藤岡 嘉 | 長野県シニアクラブ連合会 会長 |
| 松田 愛絵 | 長野県PTA連合会 副会長 |
| 宮嶋 典子 | 長野県歯科衛生士会 会長 |
| 山口 真一 | 長野県中学校長会 会長 |
| 山崎 宏 | 長野県高等学校長会 長野吉田高等学校長 |
| 山本 かつ子 | 長野県看護協会 副会長 |
| 山本 昌江 | 阿智村民生課 課長 |
| 湯本 忠仁 | 長野県調理師会 会長 |

※「令和3年度長野県健康づくり推進県民会議」を兼ねる

(五十音順/敬称略)

長野県循環器病対策推進計画

令和4年3月発行

長野県健康福祉部健康増進課、保健・疾病対策課
〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下 692-2
電話 026-235-7112、026-235-7150（直通）
FAX 026-235-7170
ホームページ <https://www.pref.nagano.lg.jp/>